

日本ITFテコンドー協会 昇級・昇段審査課題

段級	ツール(型)	ヤッソッ・マッソギ(約束組手)				キボンチャギ(基本蹴り)	試し割り			自由組手	ホシンスル(護身術)	
		3歩	2歩	1歩	半自由		ウイリョク(威力)	トゥッキ(特技)	備考			
10	サージュチルギ 四柱突き サージュマッキ 四柱受け	1~4				1.アプチャ・プシギ(前蹴り)前進/後退 2.ヨブチャ・チルギ(横蹴り)前進 3.トルリョ・チャギ(回し蹴り)前進 4.トラ・ヨブチャチルギ(回転横蹴り)前進						
9	チョンジ 天地	5~6				1.アプチャ・プシギ(前蹴り)前進/後退 2.ヨブチャ・チルギ(横蹴り)前進 3.トルリョ・チャギ(回し蹴り)前進 4.トラ・ヨブチャチルギ(回転横蹴り)前進						
8	タンゲン 檀君	7~9				1.ティミョ・アプチャ・プシギ(跳び前蹴り)前進 2.ティミョ・ヨブチャ・チルギ(跳び横蹴り)前進 3.ティミョ・トルリョ・チャギ(跳び回し蹴り)前進 4.ティミョ・トラ・ティッチャ・チルギ(跳び回転後蹴り)前進						
7	トサン 島山		1~3			1.ティミョ・アプチャ・プシギ(跳び前蹴り)前進 2.ティミョ・ヨブチャ・チルギ(跳び横蹴り)前進 3.ティミョ・トルリョ・チャギ(跳び回し蹴り)前進 4.ティミョ・トラ・ティッチャ・チルギ(跳び回転後蹴り)前進						
6	ウォニョ 元暎		4~6			1.ティミョ・トラ・ティッチャ・チルギ(跳び回転後蹴り)/クジャリ 2.ティミョ・バンデルリョチャギ(跳び反対回し蹴り)/クジャリ	1.アプチュモク(2枚) 2.ヨブチャ・チルギ(3枚)	1.ティミョ・ノビチャギ		2分2R		
5	ユルゴク 栗谷		7~9			1.ティミョ・トラ・ティッチャ・チルギ(跳び回転後蹴り)/クジャリ 2.ティミョ・バンデルリョチャギ(跳び反対回し蹴り)/クジャリ	1.アプチュモク(2枚) 2.ヨブチャ・チルギ(3枚)	1.ティミョ・ノビチャギ		2分2R		
4	チュングン 重根			1~3			1.ソソナル(3枚) 2.トルリョ・チャギ(3枚)	1.ティミョ・バンデ トルリョ・チャギ 2.ティミョ・360° トラ・ヨブチャ・チルギ	跳び蹴り1種類 指定	2分2R	正面对処法AorB 1~3 背面对処法AorB 1~3	
3	トェグ 退溪			4~6			1.ソソナル(3枚) 2.トルリョ・チャギ(3枚)	1.ティミョ・バンデ トルリョ・チャギ 2.ティミョ・360° トラ・ヨブチャ・チルギ	跳び蹴り1種類 指定	2分2R	正面对処法AorB 4~6 背面对処法AorB 4~6	
2	ファラン 花郎			7~9		昇段受審者は、拳立てを50回行う。	1.アプチュモク(3枚) 2.ソソナル(3枚) 3.トゥンチュモク(3枚) 4.ソソナルトゥン(3枚)	1.ティミョ トルリョ・チャギ 2.ティミョ ノモチャギ	手技2種類 足技2種類 跳び蹴り2種類 指定	2分2R	正面对処法AorB 7~9 背面对処法AorB 7~9	
1	チュンム 忠武			創作 1~5	創作 1~5	昇段受審者は、拳立て伏せを50回行う。 壮年部は拳立て伏せ30回を行う。 女子部は膝をつけて30回行う。 少年部は成長度合いを検討した上で審査官が決定する。	1.アプチャ・プシギ(3枚) 2.トルリョ・チャギ(3枚) 3.バンデ・トルリョ(3枚) 4.ヨブチャ・チルギ(4枚)	3.ティミョ バンデ・トルリョ・チャギ 4.ティミョ・360° トラ・ヨブチャ・チルギ	手技1種類 足技1種類 跳び蹴り1種類 指定	1:1 2分2R 2:1 1分1R	正面对処法AorB 10~12 背面对処法AorB 10~12	
1段	クワンゲ 広開			創作 1~5	(課題型の新動作 より抜粋適用し、 柔法も2つ以上 活用すること)	昇段受審者は、拳立て伏せを50回行う。 壮年部は拳立て伏せ30回を行う。 女子部は膝をつけて30回行う。 少年部は成長度合いを検討した上で審査官が決定する。	1.アプチュモク(4枚) 2.ソソナル(4枚) 3.トゥンチュモク(3枚) 4.ソソナルトゥン(3枚)	1.ティミョ トルリョ・チャギ 2.ティミョ・ノモチャギ 3.ティミョ	手技1種類 足技1種類 自由 跳び蹴り1種類 指定	1:1 2分2R 3:1 1分1R	護身術2:1 (3種類創作)	
	ボウン 圃穩						1.トルリョ・チャギ(3枚) 2.バンデ・トルリョ(3枚) 3.トラ・ティッチャ(4枚)	4.ティミョ・360° トラ・ヨブチャ・チルギ				
	キェク 階伯											
	指定型1つ											
2段	ウィアム 義菴			創作 1~5	(課題型の新動作 より抜粋適用し、 柔法も2つ以上 活用すること)	昇段受審者は、拳立て伏せを50回行う。 壮年部は拳立て伏せ30回を行う。 女子部は膝をつけて30回行う。 少年部は成長度合いを検討した上で審査官が決定する。	1.アプチュモク(4枚) 2.ソソナル(4枚) 3.トゥンチュモク(3枚) 4.ソソナルトゥン(3枚)	1.ティミョ・ヨブチャチルギ 2.ティミョ・バンデ 3.ティミョ・360°トラ 4.サンパン・チャギ	手技1種類 足技1種類 自由 跳び蹴り1種類 指定	1:1 2分2R 3:1 1分1R	短刀対処法 1~10	
	チュンジャン 忠壯											
	チュチェ 主体											
	指定型1つ											
3段	サミル 三一			創作 1~5	(課題型の新動作 より抜粋適用し、 柔法も2つ以上 活用すること)		1.手技4枚 2.足技5枚	1.ティミョ・ヨブチャチルギ 2.ティミョ・バンデ 3.ティミョ・360°トラ 4.サンパン・チャギ 5.サーパンチュク	手技1種類 足技1種類 自由 跳び蹴り1種類 指定	1:1 2分2R 3:1 1分1R	丈対処法 1~10	
	ユシン 庚信											
	チェオン 崔瑩											
	指定型1つ											

- 1 トウッキ(スペシャルテクニック)は女子、少年、壮年も含めすべて6分板を使用する。
- 2 ウィリョク(パワーブレイク)で女子のアプチュモクはアップバルクとする。
- 3 ウィリョク(パワーブレイク)で女子、少年、壮年は上記に示される枚数の1枚減とする。ただし、女子のアップバルク。
- 4 ホシンスルは少4以上とし、少年、女子、壮年のホシンスルは逃れ技および打撃技とし、制圧術を原則的に行わない。

## 確認事項

I.T.F-JAPANでは、40才以上を壮年部(シニアクラス)とする。

昇段審査は、2級の有級者が受審する権利を得られる。

少年、女性、壮年のウイリョ・トゥッキ・ホシンスルの課題

級	少年			女性			壮年			備考
	ウイリョク	トゥッキ	ホシンスル	ウイリョク	トゥッキ	ホシンスル	ウイリョク	トゥッキ	ホシンスル	
6	ヨブチャ・チルギ(2枚)	ティミョ・ノピチャギ		ヨブチャ・チルギ(3枚)	ティミョ・ノピチャギ		アブチュモ(2枚) ヨブチャ・チルギ(2枚)	免除		
5	ヨブチャ・チルギ(2枚)	ティミョ・ノピチャギ		ヨブチャ・チルギ(3枚)	ティミョ・ノピチャギ		アブチュモ(2枚) ヨブチャ・チルギ(2枚)	免除		
4	ソソカル(2枚)	ティミョ・バンデ・トルリョ・チャギ ティミョ・360°トラ・ヨブチャ・チルギ	正面・背面对処法1～3 Aタイプのみ・小3以下は無用	アブバルク(2枚)	ティミョ・トルリョ・チャギ	正面・背面对処法1～3 ABCより1タイプ選択	ソソカル(2枚) トルリョ・チャギ(2枚)	免除	正面・背面对処法1～3 ABCより1タイプ選択	
3	ソソカル(2枚)	ティミョ・バンデ・トルリョ・チャギ ティミョ・360°トラ・ヨブチャ・チルギ	正面・背面对処法4～6 Aタイプのみ・小3以下は無用	アブバルク(2枚)	ティミョ・トルリョ・チャギ	正面・背面对処法4～6 ABCより1タイプ選択	ソソカル(2枚) トルリョ・チャギ(2枚)	免除	正面・背面对処法4～6 ABCより1タイプ選択	
2	小 ソソカル (2枚) 中 アブチュモク (2枚)	ティミョ・バンデ・トルリョ・チャギ ティミョ・ノモ・チャギ	正面・背面对処法7～9 Aタイプのみ	アブバルク(3枚)	ティミョ・トルリョ・チャギ ティミョ・ノモ・チャギ	正面・背面对処法7～9 ABCより1タイプ選択	トウソチュモク(3枚) バンデ・トルリョ・チャギ(3枚)	免除	正面・背面对処法7～9 ABCより1タイプ選択	
1	小 ソソカル (2枚) 中 アブチュモク (2枚)	ティミョ・バンデ・トルリョ・チャギ ティミョ・ノモ・チャギ	正面・背面对処法9～12 Aタイプのみ	アブバルク(3枚)	ティミョ・トルリョ・チャギ ティミョ・ノモ・チャギ	正面・背面对処法9～12 ABCより1タイプ選択	アブチュモク(3枚) ヨブチャ・チルギ(3枚)	免除	正面・背面对処法9～12 ABCより1タイプ選択	

成年・壮年部は8分板。少年部、女子部は6分板で行います。  
ティミョチャギ(跳び蹴り)は、全て6分板で行います。

2007年1月5日改正